



## 学校づくりに「参画」をお願いします

浜中町立茶内小学校長 富田直樹

5月6日(金)の19時から、第1回PTA役員会が開催されました。高橋PTA会長をはじめ12名の役員の皆さんに御参加いただき、環境整備作業や運動会における茶内小学校PTAの役割等について協議を行いました。そして、最後に私と大山教頭から今年度の学校評価における「保護者アンケート」について、次のお願いをさせていただきました。



保護者の皆さんに、今年度の本校の学校づくりに「参加」ではなく「参画」していただきたいと考えています。そのために、本校が目指す重点教育目標の実現に向け、保護者として何ができるかを検討し、その内容を踏まえて、毎年実施している学校評価の「保護者アンケート」の項目を決定していただだけませんか。

このお願いの趣旨は次のとおりです。

今、日本全国の公立小学校は、令和2年度に全面実施となった「小学校学習指導要領」の趣旨や内容等を踏まえ、学校全体の教育計画を策定し、日常の授業や学校行事等の教育活動を行っています。この「小学校学習指導要領」の基盤となる考え方が「『社会に開かれた教育課程』の実現」です。

つまり、「学校として目指すべきゴール(育成を目指す資質・能力を身に付けた子どもの姿)を設定し、それを家庭や地域と共有するとともに、連携・協働して三者(家庭・地域・学校)で実現していきましょう」ということです。

これまでの学校評価における「保護者アンケート」は、学校が作成しており、項目も学校の取組や家庭における子どもの状況等を質問する内容になっていました。また、質問内容は学校として目指すゴールとは関係ないものも散見されました。これでは、「『社会に開かれた教育課程』の実現」は難しいと考えます。

本校の今年度の重点教育目標は、「自分のよさに気付き、役立つ喜びを知り、未来社会で活躍できる子ども」です。この目標を実現するためには、保護者として何ができるのか、そして取り組んでみて子どもはどのように変容したのか、変容しないのであれば何が課題だったのかなど、是非考えていただけたらと思います。「保護者アンケート」の項目の策定をきっかけに、学校づくりに参画してください。お願いします。



子どもが役立つ喜びを知るためには、保護者として何ができるかな……。

これから家事を手伝ってくれたら、「おかげでこんなことが助かったよ」と伝えてみようかな。

